

# THE WEEKLY NEWS OF FUTTSU-CHUO

インスピレーションになろう

BE THE INSPIRATION

R I 会長 バリー・ラシン



2018~2019

楽しい例会・挑戦と感激  
Cheerful Meetings, Challenging  
and Touching

富津中央RC会長 渡辺 哲夫

国際ロータリー 第2790地区 富津中央ロータリークラブ 創立:1966/10/13 加盟承認:1966/12/12  
RI D2790 FUTTSU-CHUO ROTARY CLUB Organized : Oct./13/1966 Chartered : Dec./12/1966

No.2546 第10回例会 2018. 9. 13 曇

点 鐘：渡辺哲夫 会長  
進 行：大網庄一郎 副SAA  
ソング：手に手つないで  
お客様：第5グループ ガバナー補佐 吉野和弘様

## 会長挨拶

渡辺哲夫 会長



皆さんこんにちは。まず始めに本日のお客様をご紹介します。本日のお客様は、第5グループガバナー補佐の吉野和弘様です。10月11日の第2790地区 橋岡ガバナー公式訪問2週間前訪問ということで、ご来訪いただきました。後ほど、ご挨拶をよろしくお願いいたします。

さて、一昨日よりすっかり涼しくなり秋らしい気候となつて、とても過ごしやすくなつてまいりました。これまでの蒸し暑かった日々を思うと天と地の違いがありますが、しかし、あまりの気温の変化に体調を崩さないか心配となります。このまま涼しさが続くことを願っております。

ところで先日の9日の日曜日、三枝一雄会員の「三枝病院創立50周年感謝の集い」に、クラブを代表して出席をいたしました。会場はオークラアカデミアパークホテルにて約100名近い出席者にて盛大に開催され、午後1時30分より、始めに記念式典が開催され、地元選出の浜田靖一 衆議院議員(欠席の為、ビデオメッセージ)、富津市選出の吉本充 千葉県議会議員、高橋恭一 富津市長をはじめ多くのご来賓が出席され、来賓のあいさつでは、三枝病院のこれまでの50年、地元に着目して来た地域医療としての貢献について、祝意が述べられており、記念式典に続き、「医療と Well-being」-高齢時代と感謝の心-と題して、麗澤大学 学長の中山 理先生の記念講演がありました。記念式典終了後の記念レセプションでは、お二人とも地元出身の坂本貴輝 オペラ歌手と、吉川めぐみピアニストによる記念演奏会が華を添え、後半では、今年3月に完成した新病棟のビデオ紹介があり、三枝奈芳 紀院長からは、これまでの感謝と、今後、更なる地域に役立つ施設として、貢献する旨の決意が述べられていました。なお、当日頂いた「三枝病院50周年記念誌」等を回覧いたしますので、ご覧いただきたいと思ひます。また、「看護へのあこがれ」の冊子を会員の皆さんに寄贈されましたので、配布させていただきます。

話は変わりますが、私が今年の春から日本ミツバチの飼育を始めたことは皆さんご存知かと思ひます

〒293-0043 富津市岩瀬 841-3  
いち川旅館 Ichikawa ryokan  
841-3 Iwase Futtsu-shi Chiba-ken,  
Tel. 0439-65-0177 Fax. 0439-65-0178  
URL <http://www.futtsuchuo-rotary.org>  
Mail [home@futtsuchuo-rotary.org](mailto:home@futtsuchuo-rotary.org)



が、昨日12日(水)の毎日新聞の16面、くらしナビの紙面にて、名古屋市のイラストレーター、伊藤ちづるさん(56)が自宅の庭で日本ミツバチを飼って5年。という記事が載っておりました。その記事をコピーして来たので、回覧いたしますのでご覧ください。それと、私が今年の夏に採った日本ミツバチの蜂蜜を持ってきましたので、良かったら試飲してみてください。

最後に、本日は吉野ガバナー補佐にごあいさつを頂いた後、クラブ協議会を開催した高橋裕之会員増強委員長より、会員増強のその後についてと題して報告があり、後半では、11月に訪問予定の台湾姉妹クラブ「嘉義南 RC」との詳細な予定と、日程についての説明があります。皆様のご協力よろしく願いいたします。

## 会長報告

例会終了後、三枝一雄会員より「飼う蜂の いとさわやかな 蜜の味 かずを」の一句を頂きました。

## 幹事報告

神子勝美 幹事



### 報告事項

1. 地区大会について
  - 1) 開催日:2018年10月28日(日)
  - 2) 開催時間:受付 8:30 点鐘 9:30
  - 3) 開催場所:ホテルニューオータニ幕張
  - 4) 参加対象:全会員
  - 5) 懇親会:16時～
2. 情報研修会について
  - 1) 日時: 10月20日(土) 受付13:30
  - 2) 場所: オークラアカデミアパークホテル

3)懇親会費: 5,500円

### 3、ガバナー公式訪問合同例会について

- 1) 日時: 10月11日(木) 12:00 点鐘
- 2) 場所: 東京ベイプラザホテル

### 4. 米山記念奨学委員会からのお知らせ

「米山梅吉の生涯」のDVDを完成。そのDVDが手元に届いているので、希望者はご覧ください。

### 回覧

1. 二輪車同好会ツーリングのご案内
2. 2021-22年度ガバナー候補氏名公表
3. 2017-18年度2790地区会計報告について(月信13号に掲載)
4. 三枝病院50周年記念誌
5. 上総RC会報
6. 10月18日 木更津RC 例会休会
7. 袖ヶ浦RC例会変更 10/15→10/11  
10/29→10/28

## 委員会報告

### 増強フォーラムでの会員候補について

高橋裕之 会員増強委員長



先日の会員候補リストアップに伴い、候補者それぞれに増強の責任者を配置しました。

本日はあらためて再確認させて戴き、9月末と決めた増強のアプローチ期限までに少なくとも何かしらの行動を起こすよう切にお願いいたします。

もちろん、責任者一人だけで無く会員の皆様を誘い合わせの上、増強に努めて戴くようによろしくお願いいたします。

10月に入りましたら、それぞれの責任者の方からの報告を例会でお願いいたします。

## お知らせ

高橋裕之 理事

### 嘉義南区扶輪社来訪について

嘉義南区扶輪社来訪のスケジュールを確認させて頂いております。本日現在、11/15(木)の上野への迎えに7名、鹿野山ビューホテルでの例会22名、懇親会27名、宿泊8名、11/16(金)の鹿野山ゴルフクラブでのゴルフコンペに14名、表彰式に15名、ホテルら・みらどーる鴨川宿泊に6名、11/17(土)の鴨川シーワールド～濃溝の滝～東京ドイツ村～成田空港見送りに6名の参加者となっております。3日間にわたるスケジュールになりますが、会員の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。なお、宿泊や飲食は各自の負担となりますが、バスの手配につきましては後ほど理事会に諮り、クラブでの負担とさせていただきたいと思っておりますので、ご了承の程よろしくお願いいたします。

### 木更津法人会税制セミナーのご案内

ロータリーとは離れますが、私が所属する、木更津法人会の税制セミナーが11/21(水)にアカデミアホールで開催されます。税理士会の協力で3名の税理士の方とクイズ形式でセミナーを行います。100名予定の参加者に対して2,000円～7,000円程度の商品が、抽選で20名に当たります。なお、同日同所にてセミナー終了後には、研修委員会主催の落語の公開講座も開かれます。本日は、そのチケット(1,000円)を15枚用意してまいりました。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

### ガバナー補佐挨拶

吉野和弘 ガバナー補佐



ガバナー公式訪問に先立っての訪問だとして以下の内容について述べられた。

1. 10月11日(木) 合同例会へのガバナー公式訪問全体のタイムスケジュール及びクラブ協議会の手順について
2. 10月20日(土)、情報研修会への全会員出席のお願い
3. 地区大会への参加のお願い
4. 世界大会への参加のお願い
5. ロータリーが協力している映画「プレス」のご案内

この映画の主人公は、ポリオにかかり、呼吸器がないと2分も生きられない。28歳の時に余命数か月を宣告されて36年。人工呼吸とともに世界一幸せに生きた男とその家族の奇跡の実話の映画化。ロータリアン必見の映画です。

### ニコニコBOX

岡田良弘 親睦担当部長

- 渡辺哲夫 吉野ガバナー補佐をお迎えして  
神子勝美 同上  
小野恒靖 同上  
高橋裕之 吉野ガバナー補佐をお迎えして、法人会のチケットを購入いただいて  
\*三枝一雄 三枝病院創立50周年記念式典に渡辺会長、小野会員(富津市卓球協会会長として)の出席を頂いて  
平川恵敏 渡辺会長作品のハチミツを試食して  
\*>1,000円以上 合計10,000円

### 出席報告

栗原典子 出席担当部員

区分	会員数	出席	欠席	MUp	出席率
今回	34/32	23	9		71.88%
前回	34/31	22	9		70.97%
前々回	34/32	25	7		78.13%

## 埋草

### AIと囲碁

須藤 隆 会員

つい3年前まで、チェスや将棋では、すでに人間がコンピュータソフトに負かされていたが、ゲームの中でも最も難しいと言われる囲碁に関しては、人間が負けることはないと言われ、プロ棋士がコンピュータに負けるにはまだ10年ぐらひはかかるかもしれないと言われていた。

ところが、2016年10月、世界最強レベルのプロ棋士が、米グーグルの子会社が開発した AI (人工知能 Artificial Intelligence) と5局戦って1勝4敗と完敗し、人類の幻想が打ち砕かれました。その後、囲碁の技量に関する AI の進化は目覚ましく、AI との対戦では全くと言っていいほど人間 (プロ棋士) が勝てなくなってしまいました。

なぜ、人間が教えた囲碁のソフトがわずか1年程度でこれほどまでに強くなってしまったのか。

この強さの源は、AI が自ら学ぶ深層学習 (ディープラーニング) にあるという。AI 同士が、数百万局もの対局を通じて自ら学習し、人間が学ぶ以上の技量を得、さらにあらゆる局面で自ら判断する能力を身に着けたのである。一人の人間が対局できる数は、一生かかってもせいぜい数千から数万局のレベルであるが、コンピュータは昼夜を問わず、秒単位で一局を消化できる途方もない勉強量によって、自ら訓練し、能力を高めることが可能なのだという。

さらに2017年10月、世界的に権威のある学術雑誌「ネイチャー」に掲載された論文によると、それまでの AI は、人間の棋譜 (対局のプロの実践譜) を学習して人間に勝てるまでに進化したが、新たに開発された AI は、人間の棋譜を利用することなく、3日間で490万局もの自己対戦を経たのち、プロ棋士を圧倒する成績を収めたと発表された。すなわち AI は人間という教師なしで人間以上に進化してしまったのである。

すでに囲碁棋士は AI と競うことでなく、AI の圧倒的な強さを認め、AI を自らの囲碁観を高める道具として活用することで AI と共存していこうとしている。人間が AI に負けたからと言って、囲碁のプロ棋士

の存在価値は今も何ら変わらない。今年になって、囲碁界第一人者の井山裕太7冠 (棋聖、名人、本因坊、天元、碁聖、十段の各タイトル) に「歴史に刻まれる偉業を達成し、多くの国民に夢と感動を、社会に明るい希望と勇気を与えた。」として国民栄誉賞が授与されたことは、囲碁が社会に認められ、その存在価値がゆるぎないものとされる証左であろう。

囲碁の世界で人工知能が人間の最高頭脳に勝利したことにより、あらゆる分野における AI の将来展望への期待が新聞紙上で喧伝されるようになった。これは囲碁というゲームが、AI 技術の進展に何らかの貢献をしたのではないかと、囲碁を愛する小生が思うのはいささか手前味噌であろうか？

ともあれ、あらゆる分野の生産の自動化、対話のできるロボットの開発、医療分野への応用、自動車の無人運転を可能にする研究、翻訳能力の一層の向上、さらには投資戦略や、経済予測、気象予測等、枚挙にいとまがないほど AI が応用されるようになった。囲碁で人間を圧倒したように AI は膨大なデータから人間以上に判断する能力を高めることが可能になったことを実証したのである。

近い将来、私たちの生活の中で、多くの人は AI と向き合うことになる。これだけの頭脳を逆に悪用することがあってはならない。これから人間と AI が共存していくには、AI 利用における法律面の整備とその運用に関する倫理上の問題が大きな課題である。AI が、私たちの身近なものとなることを意識し、AI に無関心ではいられない。

### 編集後記

会報の4ページ目が全くの白紙になったため、勝手ながら編集者の拙文を「埋草」として急遽掲載することとしました。

埋草の本文は富津文化誌 (第45号) に本年3月に寄稿したものに一部手を加えたものです。

(すどう)